

婦宝当帰膠の4つの特徴

「血虚」タイプの男性にも
勧めたい薬です

特徴1



第1の特徴は、成分の70%を占める当帰が血を補い、巡らせ、「補血」、「調血」、子宮の発育を促進することです。特に子宮収縮の抑制と促進という双方向に調整する働きを持っていて、その時の体調によって子宮をゆるめ、血流を増加させて栄養を改善し、あるいは逆に子宮を収縮し、リズムを回復します。

特徴2



第2の特徴は、黄耆(おうぎ)/マメ科の植物キバナオウギの根)を加えていることです。疲れを防ぎ、精力の回復のために当帰と黄耆の配合は非常に価値があります。黄耆はパワーとエネルギーを補充し、筋肉運動を支配しています。「目は口ほどに物を言う」という諺があります。目は顔の表情の中で一番大切で、瞳が輝いていると、豊かで魅力的な表情を作ることができます。いきいきとした表情にも黄耆は役立っています。

特徴3



第3の特徴は、「養血」、「止血」の働きを持った阿膠(あきょう/ロバからとったにかわ・コラーゲン)を加えることによって、補血の効能を増強しながら出血を止めることです。不正性器出血、子宮筋腫による多月経、腸からの出血(便血)、痔出血などを繰り返す、血虚傾向の方の体質の改善薬として使用されています。

特徴4



第4の特徴は、胃腸の消化吸収をよくする党参(とうじん)、茯苓(ぶくりょう)、甘草(かんそう)が配合してあることです。貧血の人には鉄剤を投与しますが、鉄剤には、むかつき、胃のもたれ、食欲不振などの「副作用」も決して少なくありません。一方、補血剤の婦宝当帰膠の中の党参、黄耆、茯苓、甘草は胃を丈夫にさせ、腸を整え、消化吸収を助けてくれます。従って食欲も出て貧血を早く改善します。その上に、党参、茯苓、甘草が、「気」を補うことにより補血作用をさらに強めてくれます。

婦宝当帰膠はこうした4つの特徴を持ち、配合のすばらしさから、「補血」「調血」の効能は四物湯より優れ、まさに「女性の宝、美容の宝」です。

同時に、女性のみならず、「血虚」から起こるすべての症状に、したがって「冷え」を感じる男性にも婦宝当帰膠は適用できます。